

平成23年4月1日

報道関係各位

ハワイアン航空、日本への取り組みを改めて表明 東京への便数を削減することなく大阪向け路線を予定通り7月に運航開始

ホノルル発 -ハワイアン航空(本社:ホノルル、代表取締役兼 CEO:マーク・ダンカリー [Mark Dunkerley])は本日、羽田への便数を削減することなく関空向けの路線も予定通り7月に運航開始し、日本への取り組みとアジアでの拡張計画を継続すると改めて表明しました。

ハワイアン航空代表取締役兼 CEO のマーク・ダンカリーは次のように述べています。「3月11日に発生した地震と津波により、日本の東北地方の沿岸部は甚大な被害を受けました。ハワイアン航空の全社員は家族を亡くされた方々に心からのお悔やみを申し上げますと共に、復興に向けて将来の不安を抱えられる皆様にお見舞いを申し上げます。日本と同じ島国の企業であるハワイアン航空は、救援を必要としておられる日本の方々との間に特別なつながりを感じております。ハワイアン航空は、今後幅広い貢献ができればと願っております。」

「一部の航空会社は日本向け路線の便数削減を発表していますが、ハワイアン航空は羽田空港へのデAILY運航の削減は予定しておりません。また、関空への新路線は計画通りホノルル発7月12日から運航を開始します。現在までのところ、ハワイアン航空にも震災による影響が出ているものの短期の回復を見込んでおります。」

マーク・ダンカリーをはじめとするハワイアン航空の経営陣は先週初めに日本を訪れ、この度の震災が日本に及ぼした影響に触れる機会を得ました。

「復興に向けた日本のプロフェッショナルで確固たる取り組みは、世界の模範となるものです。東京などの日常生活が正常に復帰する速度には感嘆を覚えざるを得ませんでした。」

マーク・ダンカリーは、ハワイアン航空の羽田行き路線は主に日本からの旅行客によって利用されており、外国人旅行客と比較し旅行計画が変更されない傾向があると述べています。

地震直後には多数のキャンセルが発生しましたが、現在その数は減少傾向にあります。今後数カ月間は、予約の減少が続くと予想していますが、夏に向けての時期には回復が始まると見込んでいます。

「地震発生前の東京での実績は期待を裏切らないレベルであり、当社は関空向け路線の就航を前倒しました。日本のハワイ旅行市場においてハワイアン航空が果たす役割は大きく、現在就航中、および計画中の両路線については精力的に取り組んでまいります。」とマーク・ダンカリーは述べています。

ハワイアン航空は 2010 年 11 月 17 日に、ホノルルー羽田間の直行便のデイリー運航を開始しました。同路線はハワイアン航空の売上高の約 5%を占めています。

ハワイアン航空について

創設82年の歴史を持つハワイアン航空は、米国国内で最大の航空会社です。米国本土からの搭乗客数は他の米国航空会社を抜き、最大数を誇ります。現在、ハワイ島間便は、1日150便以上、米国主要10都市への直行便、日本、韓国、フィリピン、オーストラリア、アメリカ領サモア、タヒチへの直行便を運航しています。

ハワイアン航空は米国における第20回航空会社品質調査において、最高のサービスとパフォーマンスを提供する航空会社に出選されました。同調査では、過去4年間で3回、トップ企業としてランクされています。また、米運輸省の行う米航空業界ランキングにおいては、7年連続で定刻離着率1位(2004～2010年)、米国旅行誌「コンデナスト・トラベラー」、「トラベル+レジャー」、「ザガット」においてもハワイアン航空は、米国航空会社のトップにランキングされています。ハワイアン航空は、ハワイアン・ホールディングス(NASDAQ:HA)の子会社です。

詳細は、HawaiianAirlines.co.jp(日本語)もしくはHawaiianAirlines.com(英語)をご覧ください。

ハワイアン航空(旅客)総代理店
株式会社グローバルサービス
TEL: 03-5405-3126
FAX: 03-5405-0985

ハワイアン航空 広報窓口
株式会社バーソン・マーステラ
担当: 松枝、清水
TEL: 03-3264-6701 / FAX: 03-3234-9647
E-mail: HawaiianAir@bm.com